

青中だより



令和4年4月8日発行
港区立青山中学校
〒107-0061
港区北青山一丁目1番9号
電話 03-3404-7522

教育目標 自立 共生 創造 **生徒目標** 「真剣な学習」「節度ある行動」

新年度の初めに当たって

校長 中田 和直

暖かな日差しとやわらかな春風に心華やぐ頃、色とりどりの花が咲き競う季節を迎えました。

新入生の皆さん入学おめでとうございます。また2年生、3年生の皆さん進級おめでとうございます。新たに48名の新入生を迎え、全校生徒数135名で令和4年度がスタートしました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大により、繰り返し緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され多くの行事が延期や中止となってしまいました。それでも運動会や学芸発表会を実施することができたことや、1泊の実施となってしまいましたが港区の中学校で初めて企画したスキー教室にもいくことができました。コロナ禍においてできることに取り組んだこれらの行事は、思い出に残るとともに仲間との協力や絆を深めることができ、今年度につながる大きな成果を挙げることができました。

昨年度より中学校新学習指導要領が完全実施され、学校では「個別最適な学び」と「協働的な学び」を計画的に取り入れた「主体的・対話的で深い学び」のある授業改善や、一人一台配布されたタブレット端末の一層の活用をしたGIGAスクール構想の実現が求められます。

令和4年度の大きな行事は昨年度と同様10月に運動会、3月に学芸発表会を予定しています。また宿泊行事は6月に3年生修学旅行、8月に2年生夏季学園、1月に1年生スキー教室を予定しています。新たな試みとして、1学期に1・2年生それぞれに校外学習、1年生職業講話を11月に予定するなど年間をとおしてバランスよく行事を配置し、一つ一つを丁寧に実施してまいります。

また、令和3年度は様々な場面でリモートを活用した教育活動に取り組んでまいりましたが、引き続き対面とリモートを活用したハイブリット授業や三者面談等への活用をしてまいります。お知らせ等のデジタル配信、ICT機器を活用した出欠席連絡、体温入力による健康観察も引き続き行ってまいります。

青山中学校では昨年、学習指導要領の改訂と合わせてこれからの時代を生き抜く子どもたちに必要な資質・能力を身に付けさせるため教育目標を【自立】自ら考え判断し行動できる人【共生】思いやりの心もち協働できる人【創造】深く考え創造できる人としました。新型コロナウイルスの感染状況が見通せない状況はありますが、コロナ禍における2年間の経験を活かし「学びを止めない」教育活動を進めてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

入学式歓迎の言葉 生徒会 副会長 S・Tさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。せつかくの機会ですので私から何点かアドバイスさせていただきます。まず、今皆さんは小学校から環境が変わることに大きな不安をもっていると思います。ですが、中学校と言うのは全てが慣れず。制服にも教科担任制にも、新しい人間関係にも、そして中休みのない時間割にも、いつかは慣れます。ですので、期待だけしておいてください。青山中学校はその期待を裏切らないことを保証します。また学習面においても慣れが大切です。皆さんの中には、小学校の頃、全く勉強しなかったという人もいます。私自身もそうでした。しかし、中学校ではそうはいきません。考査、そして三年生になれば受験があります。考査は成績に直結し、成績は受験に直結します。そして、その根本となる勉強の仕方は一年生の頃に定着します。「三年生から頑張る」では間に合いません。結局ずるずる勉強しないまま、受験期を迎えることになってしまいます。一年生の頃から勉強することに慣れておけば、そんなことになりません。とにかく最初が肝心です。テスト勉強したくないなと思ったらこの話を思いだしてください。

ここまで嫌な話をしてしまいましたが、中学校は勉強ばかりではなく、楽しいこともたくさんあります。特に部活動は中学校生活を充実させる簡単な方法です。何かに全力で打ち込むという日々というのはとても輝かしいものです。もちろん部活は全員参加ではないので、入らない選択もできます。ですが、部活動でなくても、何か自分が全力になれるものを見つけてみてください。中学校は何か全力で打ち込める機会が小学校よりも多く用意されています。勉強、部活動、委員会、行事等です。人は、好きなものほど全力になれる。そして全力になればなるほど人は成長できます。また、行事や委員会などで中学校では生徒が主体となって活動することが多くなります。そのため小学校よりも大変なことや苦勞することが多いです。しかしその分、何かを成し遂げた時に感じる達成感は小学校の時とは比べ物になりません。仲間と何かを成し遂げるということはとても楽しいことです。

私はあと1年で卒業です。卒業前、もし神様が中学校生活の1日だけをもう一度やり直させてくれると言ったら、私は何を選ぶでしょうか。全学年で応援ダンスをした運動会でしょうか。学年みんなで歌った学芸発表会でしょうか。気持ちが奮いたった部活動の大会でしょうか。私はきっと普通に6時間授業で部活動がある1日を選ぶと思います。友達と朝話して昼休みに遊んで、部活動をして一緒に下校する。そういう1日1日が私は一番大切だと思います。

中学校は3年間しかありません。1日1日を大切に、何事にも積極的に取り組んでみてください。初め、中学校生活は慣れが大切という話をしましたが、慣れて行くスピードは人それぞれです。焦る必要はありません。自分を大切に、一步一步進んでいけばきっと楽しい中学校生活が遅れると思います。本日はおめでとうございます。

入学式誓いの言葉 新入生代表 Y・Yさん

本日は、このような立派な式を執り行っていただき、ありがとうございます。自分たちが中学生になったことを改めて自覚し、これから始まる3年間の生活を思うと、着なれない制服ながらも背筋が伸びる思いです。今日から始まる中学校生活、私は2つの楽しみがあります。一つ目は、たくさんの友達を作っていくことです。私は、青南小学校の出身ですが他の小学校から入学してきた人達とも、積極的に話しかけ、よりよい関係を築いていきたいです。クラス関係なく、多くの人と絆を深め、頼られる存在になっていきたいです。二つ目は、部活動です。見せ場で良い成績を修めるという目標に向かって部員全員で団結して努力していくことが部活動の大きな魅力だと思います。3年間あきらめずに最後までやり抜くことを目指して頑張っていきたいです。一方で不安もあります。勉強はより難しくなり、教科ごとに教えてくださる先生も変わります。中間テストなど初めての経験です。授業の内容がきちんと理解できるかが心配です。きちんと学習を進めていけるよう、分からない内容はそのままにせず、先生に聞いたり、姉に教えてもらったりしていきます。私は6年間の小学校生活をとおして、「努力は報われる」ということを学びました。運動会、金管バンド、苦手な教科の学習など、どれも大変であきらめてしまいそうな時がありましたが、たくさんの方々に支えられ、最後までやり抜きました。大きな達成感を得ました。この言葉を胸に、中学校でも全力で頑張っていきます。1日1日を大切に過ごし、青山中学校の仲間とともにたくさんの思い出を作りたいです。これからどんな生活が待っているかを考えるだけでトキメキが止まりません。

転入教員職員より自己紹介



S・H 教諭(社会科) 第3学年所属

皆様はじめまして、この度ご縁があつて第3学年を担当させていただきます鈴木颯と申します。子どもたち一人ひとりが、また学年全体が、そして学校全体が様々なことに挑戦し、乗り越えていくべく、私自身も全力を尽くす所存です。1年間よろしくお願いします。

I・R 教諭(保健体育) 3組所属

今年度より青山中学校で勤務することになった田舎 凌と申します。これから皆さんと一緒に沢山の経験と思い出を作っていけたらと思っています。よろしくお願いします。

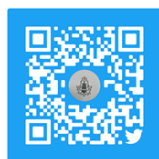
Y・T 都事務職員

4月より配属になりました横山卓也です。以前は東京都オリンピック・パラリンピック準備局にて、パラスポーツに関する仕事をしておりました。スポーツ(特にサッカー)と建築が大好きですが、最近の休日は専ら娘と遊んで過ごすことが多いです。不慣れなところも多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、生徒の皆さん、教職員の皆さんの充実した学校生活に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

K・M 区事務職員

この度、麻布地区総合支所区民課窓口サービス係から異動して参りました。事務室の金具百々枝です。皆さんが笑顔で学校生活を送れるようお手伝いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

青山中学校 Twitter、ホームページ QR コードです。ぜひアクセスしてみてください。



青山中学校 Twitter QR



青山中学校 HP QR